

学生支援サミット 2024

実施報告書

三重大学 教育推進・学生支援機構
学生支援・キャリアセンター
学生支援企画部門

目次

1. はじめに … p. 2

2. 学生支援サミット 2023 概要 … p. 3

- 趣旨
- 目的
- 当日の内容
- 主催
- 日時
- 開催場所
- 参加者
- 当日のスケジュール

3. 当日の参加状況 … p. 4

- 学生・教職員の参加状況
- 当日のグループ構成

4. 当日の流れ … p. 5

- 進行スライド

5. 各グループの活動報告 … p. 8

- グループ①：学生代表者会議グループ
- グループ②：CPS グループ
- グループ③：ピアサポーター学生委員会グループⅠ
- グループ④：ピアサポーター学生委員会グループⅡ

6. 資料 … p. 11

- 学生支援サミット 2024 ポスター
- 三重大学ホームページ トピックス掲載記事

1. はじめに

三重大大学では、「学生支援サミット」と名付けたイベントを毎年開催しています。これは、今後の三重大大学の学生支援のあり方に関するビジョンを、学生・教員・職員がともに描き、共有し、それに基づいて三重大大学の今後の学生支援のあり方を検討する目的で、平成24年度より始まりました。毎回、テーマを設定し、参加者はグループに分かれて意見を出し合い、それを全員で共有します。

本年度の「学生支援サミット 2024」は、テーマを「学生の力で推進する『キャンパスづくり』」に設定し、充実した大学生活を送るための環境づくりや制度設計について、学生と教職員が主体的に検討する機会として、本サミットを開催しました。

対面を基本とした大学生活が復活した今、三重大大学をよりよい環境にアップデートしていくことは、学生・教職員・大学を利用する地域の方々のいずれにとっても大事なテーマです。そこで、学生・教職員の「行動する力」を活用し、充実した大学生活を送るための環境や制度設計について、学生と教職員が一緒になって検討を行うイベントを開催しました。本報告書は、この活動と成果をまとめたものです。

サミットにおいて提言された意見やアイデアを多くの方に知っていただき、学生生活環境の充実をはじめ、三重大大学の発展の寄与につながる資料としてご覧いただけることを心よりお願い申し上げます。

また最後となりますが、学生支援サミットの企画・運営に関わりご協力を頂いた皆さま、当日参加し貴重なアイデアを出して頂いた学生・教職員の皆さまに厚くお礼申し上げます。

三重大大学 教育推進・学生支援機構
学生支援・キャリアセンター
学生支援企画部門

2. 学生支援サミット 2024 概要

○ 趣旨

年に一度、三重大大学の学生・教員・職員がともに大学をより良いものとして行くために協働して議論を行う機会として開催している。本年度は、テーマを「学生の力で推進する『キャンパスづくり』」に設定し、充実した大学生活を送るための環境づくりや制度設計について、学生と教職員が主体的に検討する機会として、サミットを開催した。

○ 目的

学生・教職員の「行動する力」を活用し、充実した大学生活を送るための環境や制度設計について、学生と教職員が一緒になって検討する機会とする

○ 当日の内容

今回は学生代表者会議（翠陵ミーティング）の第3回を学生支援サミット 2024 と位置づけ、よりよいキャンパスづくりに向けたアイデアについて、学生と教職員が一緒になって考える機会とした。まずは全体として、学生支援サミットの概要や当日の流れ等について説明を行った後、グループごとに討論・検討してもらうトークテーマを提示した。トークテーマは以下の4点である。

- ①今の三重大大学のキャンパスについての課題・改善点
- ②三重大生の学びや学生生活を充実させるための環境やルール、企画（イベント）についてのアイデア
- ③そのアイデアを実現させるために自分や三重大生ができること
- ④そのアイデアが実現した場合に三重大生（や大学利用者）にもたらされるメリット

グループディスカッションの中で出た意見やアイデアは、パワーポイントにまとめ、各グループからの報告発表を行った。最後に、報告内容を踏まえての全体でのディスカッションが行われた。

○ 主催

三重大大学 教育推進・学生支援機構 学生支援・キャリアセンター、学生支援企画部門

○ 日時

2024年9月25日（水）12:00 ～ 13:30

○ 開催場所

三重大大学 地域共創プラザ2階

○ 参加者

学生については、各学部への参加依頼等を通して募集した結果、合計 44 名の参加エントリーがあった。教職員については、学生総合支援機構や学務部等の関係教職員、合計 18 名が参加した。

○ 当日のスケジュール

12:00～12:10（10 分）	開会の挨拶 三重大学学長 伊藤正明
12:10～12:30（20 分）	参加者のアイスブレイク兼懇親を目的とした立食 趣旨説明
12:30～13:10（40 分）	【各グループでの活動内容】 ・メンバー間の自己紹介 ・トークテーマに関するディスカッション ・全体報告に向けた内容のまとめ
13:10～13:25（15 分）	【活動報告と全体での質疑応答】 ・各グループでの活動報告 ・全体での質疑応答
13:25～13:30（5 分）	閉会の挨拶 教育推進・学生支援機構 鈴木英一郎

3. 当日の参加状況

○ 学生・教職員の参加状況

学生支援サミット当日の参加者数は、学生 13 名、教職員 11 名の合計 24 名であった。

○ 当日のグループ構成

当日は以下の 4 グループに分かれてディスカッション及び全体発表が行われた。

グループ①：学生代表者会議グループ（教育学部 1 名、医学部 1 名、生物資源学部 1 名）

グループ②：CPS グループ（人文学部 1 名、医学部 1 名、生物資源学部 1 名）

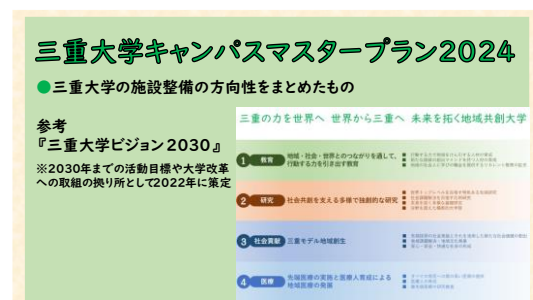
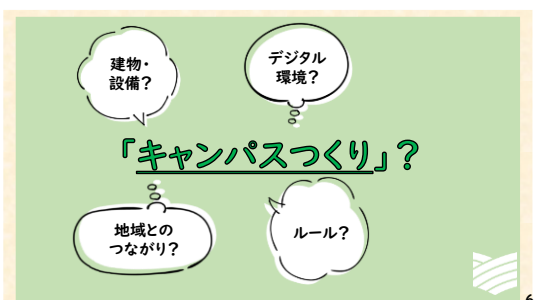
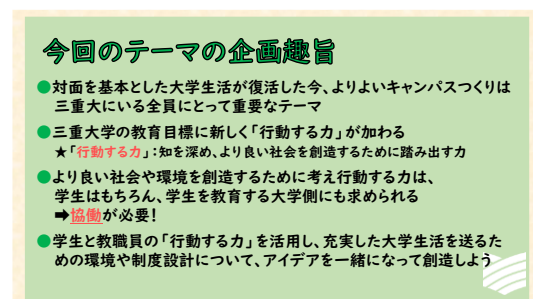
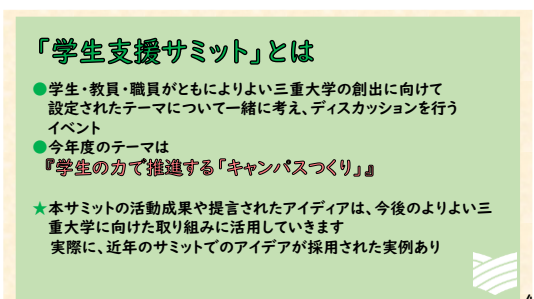
グループ③：ピアサポーター学生委員会グループⅠ（人文学部 1 名、教育学部 2 名）

グループ④：ピアサポーター学生委員会グループⅡ（人文学部 3 名、工学部 1 名）

4. 当日の流れ

○ 進行スライド

当日は以下のスライドの通りに進行を行った。



三重大大学キャンパスマスタープラン2024

【基本方針】

1. 教育

三重大大学は、様々な属性を備えた学生を受容し、学生たちに多様な学習場面を提供するとともに、探究心と創造性と協働性を培うためのきっかけにあふれた、生き生きとしながらも落ち着きある安全・安心で高度な環境先進性を備えたキャンパスを必要としている。

2. 研究

三重大大学は、個々の研究領域を単なる独立併存状態から脱皮させ、多種多様な研究領域が交流・交錯する、知的刺激にあふれたキャンパスを必要としている。

3. 社会貢献

三重大大学は、地域の人々が教育・研究のテーマを持ち寄り、大学によって再創造された成果を持ち帰ることのできる地域の学術の中心であり、地域の人々にとって身近で分かりやすい「知的公園」となる、社会に開かれたキャンパスを必要としている。



8



- **メディカルゾーン:**
病院を中心とした、医学系の教育・研究ゾーン
- **テクノロジーゾーン:**
比較的大きな実験設備を必要とする理工系の教育・研究ゾーン
- **サイエンスゾーン:**
自然科学を中心とした教育・研究ゾーン
- **カルチャーゾーン:**
教養教育および人文科学系の教育・研究ゾーン
- **シビックゾーン:**
全学共同利用施設及び学生・市民サービス機能を充実させる本学の社会に向けた顔をつくるゾーン
- **アスレチックゾーン:**
運動施設、グラウンド、コートなどを整備するゾーン



9



クラブハウス
(2023年3月)

イルミネーション
(2023年12月)

トリムトレイル
(2019年7月)

正門
(2023年6月)

地域共創プラザ
(2023年3月)

人文部校舎
(2021年3月)



10

三重大大学キャンパスマスタープラン2024

【デザインコード】キャンパス内の屋外環境や建築物の具体的な設計の統一・標準的な指針

1. 「知的公園」としての性格の強化
知的刺激にあふれた公共空間（パブリックスペース）としての造形
2. ゲートゾーンのデザイン
社会に開かれた「迎えの門」としての造形
3. 橋内道路のデザイン
歩行者、自転車、自動車の交通を仕分け、高齢者や障害者の安全・自由な移動に配慮したデザイン
4. サイン計画
様々な人を目的地にスムーズに誘導するための体系的に整理された明快なサイン（案内版）
5. ユニバーサルデザイン計画
すべての人が特性にかかわらず安全・安心・快適に利用できる環境づくり
6. 駐車場計画
7. 駐輪場計画
8. キャンパスの環境性能の向上



11

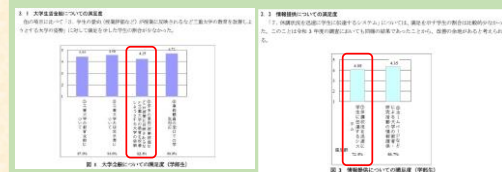
「知的公園」としての性格の強化

1. キャンパス全体のまとまりがあること
キャンパスの空間的広がりとつながりをつくり、全学で協働して造形する必要がある。
2. キャンパス全体のつながりが理解しやすくなること
橋内道路や歩道は、到達点の導線に入りやすいように、連続的な視覚的つながりによって、到達点を導く必要がある。
3. キャンパスを歩くこと自体に楽しみや発見があること
キャンパス内の歩道は、歩行者が安全に歩けるように整備する。歩道・キャンパス内の橋内道路や歩道などに設置する場合は、1階に公共的な内部空間を設け、歩道を兼ねたロービーやラウンジとして活用すること。歩道・橋内道路や歩道が歩行者にとって安全で快適な環境となるように、デザインや機能に合わせたキャンパス全体が、明るく安全な環境に変化する。
4. キャンパスが落ち着いて居られる場所であること
緑の多い場所や、多人数が利用できる建築物の近くは、木陰やベンチや広場など、落ち着いて居られる空間を積極的に整備し、公園のような雰囲気をもたせることが望ましい。
5. 多様な人々が行き交い、多様な動植物にあふれる生命感あるキャンパスであること
学術委員会の設置・関係が可能な施設を確保したり、食堂などの福利厚生施設を充実したり、博物館やラーニングセンターを整備することによって、キャンパスのにぎわいが広がる。
6. キャンパスを巡れることが目的となる場所であること
地域の市民はもちろん、国内のみならず海外からも、キャンパス自体を目的として観光客や見学者が集まるキャンパスに成長していくことが望ましい。
7. 美しい広場（大学ヤード）のデザイン
緑地・建築物・歩道の緑地は、キャンパスの中心に位置するべき位置にある。
8. インフォメーション・コモンズ（共創拠点）として新たな価値観を生み出す場所であること
キャンパスは教育研究の基盤としてだけでなく、高度な知的・人的資源の拠点、オープンな創造のハブ、地域の産業振興や地域課題のための思考・実践、地域振興や地域課題を支援する拠点、災害発生時の地域の防災拠点、地域における高度な教育の拠点としての役割を果たす必要がある。



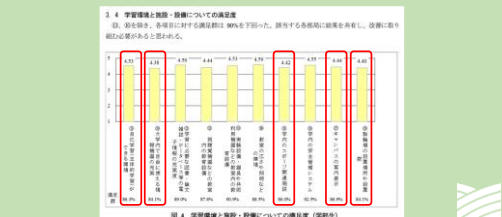
12

三重大大学教育満足度調査（令和4年度）



13

三重大大学教育満足度調査（令和4年度）



14

三重大大学教育満足度調査（令和4年度）

- 【自由記述意見（抜粋）】
- 学生が集う場所が少ない（人文学部のようなラウンジが欲しい）
 - 勉強できる場所をもっと増やしてほしい
 - 自由に誰でも使えるスペースが欲しい
 - 学生同士や先輩との情報交換などの交流の機会をもっとあればよかった
 - 専門分野以外の学びにも柔軟な体制があるとよい
 - もう少し外の世界とのつながりを感じたい
 - 一斉送信のメールが多すぎる
 - wi-fi環境を強化してほしい
 - 学生向けの情報伝達の仕組みをアプリなどで統一してほしい
 - 自転車運転者の交通安全意識の向上と通路の改善が必要
 - 大学附属の博物館施設があるとよい（そこで学芸員を雇用）



15

こんなキャンパスあったらな...



創立75周年企画
クラブハウス前広場のリニューアルイメージ図
(12月上旬完成予定)

交流ラウンジ
「Plugin lab」
(名古屋大学)

大学内カフェ
(筑波大学)



16

今回の学生支援サミットの活動内容

- ここ数年で様々な環境が変わり、発展を遂げてきた三重大大学。
- 一方で、キャンパスについての課題があり、まだまだ色んな発展可能性がある。
- よりよいキャンパスを作っていくためには、教職員だけでなく、キャンパスの中で学生生活を送る三重大生アイデアが非常に重要。
- 学生と教職員の「行動する力」を活用し、充実したキャンパスを作（創）るために、よりよい環境や制度作りのためのアイデアを学生と教職員が協働して考える機会とします。



17

今回のトークテーマ

- ①今の三重大大学のキャンパスについての課題・改善点
- ②三重大生の学びや学生生活を充実させるための環境やルール、企画（イベント）についてのアイデア
- ③そのアイデアを実現させるために自分や三重大生ができること
- ④そのアイデアが実現した場合に三重大生（や大学利用者）にもたらされるメリット

18

今回の学生支援サミットの活動内容

【各グループでの活動】（12:30～13:00の30分）

- グループメンバーでまずは自己紹介！
- （適宜司会・書記を決めて）トークテーマについて話し合う
※ホワイトボードと付箋は、アイデア出しやまとめにお使いください
- 全体報告に向けた報告資料（パワボ）のまとめ
※各グループの机に置かれているパソコンに報告用ファイルが入っています

【活動報告と全体での質疑応答】（13:00～13:25の25分）

- 各グループからの活動報告
※パワボ+ホワイトボード（図や絵を描いたもの）での報告も◎
- 全体でのディスカッション

19

各グループに分かれて の活動時間

12:30～13:10（40分）
（予定）

20

各グループからの活動報告 全体でのディスカッション

13:00～13:25（25分）

21

閉会の挨拶

22

多くの方にご参加いただき、
誠にありがとうございました。

23

5. 各グループの活動報告

○ グループ①: 学生代表者会議グループ

<p>①今の三重大学のキャンパスについての課題・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車・歩行者用道路が分かれていないところがある ・Wi-Fi通信環境が悪い(特に教育・生物資源) ・空きコマを活用できるラウンジやカフェがない ・水圧の強弱差(生物資源) ・喫煙所の不足(案内表示もない) ・事務系の施設の場所がわかりづらい 	<p>②三重大生の学びや学生生活を充実させるための環境やルール、企画(イベント)についてのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空きコマを活用できるラウンジやカフェで学習できる環境を作る ・ハロウィンの日の仮装可能デイを作る/仮装パーティー ・意見募集メールや意見箱の設置 ・ルーターを増やす/強化 ・自転車・歩行者用道路を分ける ・水圧の強弱差をなおす(生物資源) ・囲われているタイプの喫煙所を増やし、案内表示も作る ・事務系の施設の場所の案内表示を増やす
<p>③そのアイデアを実現させるために自分や三重大生ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィンの企画は学祭実行委員も協力してもらう ・自転車と歩行者の道路の区別がついていないところでは、歩行者右、自転車左を心掛ける 	<p>④そのアイデアが実現した場合に三重大生(や大学利用者)にもたらされるメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接触事故などの危険防止 ・空きコマ後の勉強スペースができ、欠席率が下がるし、会話がはかどるスペースなので集団での教えあいもでき、学習意欲が高まる ・受動喫煙の防止になるし、喫煙者もうれしい ・他学部との交流もでき、シンプルに楽しいかつほかに比べ準備の労力があまりかからず即効性がある

○ グループ②: CPS グループ

①今の三重大のキャンパスについての課題・改善点

三重大三大問題

環境面

- ・場所の名前が分かりにくい
- ・木が減った
- ・駐輪場が少ない、止めにくい
- ・車止めが邪魔

精神面

- ・交通マナー(歩行者も含め)
- ・活動の気概

支援団体

- ・情報の発信不足
- ・人数不足
- ・資金不足

②三重大生の学びや学生生活を充実させるための環境やルール、企画(イベント)についてのアイデア

環境面

- ・食堂周辺に全体マップを置く、場所の名前の変更、簡略化、ニックネーム化
- ・自動車止めの簡略化
- ・道路等の整備
- ・木の保全

精神面

- ・外部との交流増加

支援面

- ・ポスター掲示場所の増加
- ・立て看板の設置
- ・支援団体の大きなイベントの開催
- ・秋新歓、冬新歓の実施

③そのアイデアを実現させるために自分や三重大生ができること

環境面

- ・ニックネームの募集
- ・環境意識の向上
- ・木の保全

精神面

- ・自分自身の見直し

支援面

- ・支援団体(ピアサポ、CPSなど)によるイベントの企画、開催

○ グループ③:ピアサポーター学生委員会グループⅠ

<p>①今の三重大大学のキャンパスについての課題・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館にエアコン設備がない ・ 体育館の下駄箱の板が壊れている ・ トイレをきれいにしてほしい(体育館など) ・ ロッカーが欲しい ・ ウォータサーバーを増やしてほしい ・ 空き教室がわからない ・ 学内の教室がどこにあるかわからない ・ 交流スペースがない ・ 学食が混んでいる ・ 遊具がない ・ 喫煙所がない 	<p>②三重大生の学びや学生生活を充実させるための環境やルール、企画(イベント)についてのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館にエアコン設備をする ・ 体育館の下駄箱の板を直す ・ トイレをきれい(体育館など) ・ ロッカーの設置 ・ ウォータサーバーを増やす ・ 空き教室状況がわかるサイトのな ・ 学内道路に標識(ここ右に曲がれば共通教育棟)を設置 ・ 交流スペースを増やす ・ 学食が混むので野外販売をする ・ 鉄棒などを設置する
<p>③そのアイデアを実現させるために自分や三重大生ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 署名活動をする 	<p>④そのアイデアが実現した場合に三重大生(や大学利用者)にもたらされるメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新入生が早く学内を知ることができる ・ 来訪者が迷わない ・ 三重大生が快適な学生生活を送ることができる

○ グループ④:ピアサポーター学生委員会グループⅡ

<p>①今の三重大大学のキャンパスについての課題・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 充電スペースが少ない。 ・ 朝早くからいる学生に軽食提供 ・ 食堂で三重大カレーを食べたい ・ 災害などで電車が止まった際、三重大内で過ごせる施設 ・ 衛生 便座クリーナーを充実させてほしい 	<p>①今の三重大大学のキャンパスについての課題・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャンパスマップがたまか。他の学部に行く際に学務の場所が書いてない。 ・ 生物資源学部の駐輪場にある自転車のごたごた。風が吹いたときに倒れる。 ・ 投稿の時に病院側から入ろうとすると車が全然止まってくれなくて横断歩道が渡れない ・ 生協でご飯かうとき翠陵会館だと混んでいる、教養教育棟の空き教室は遠いから、クラブ・サークル棟の施設を昼食に開放してほしい ・ 教養教育棟のベンチとか生協のベンチにバラソルみたいな日除けがほしい。あるところにはあるが、全部ほしい。日傘をさして食べている人もいる。 ・ マップが使いづらい。一年生には305号室とかこの授業がそうなのかを調べるとき部屋の番号を調べて何号館にあるかを調べて、さらに何号館がどこにあるかを調べなくてはいい。一発でまとめてわかるようにしてほしい。
<p>②三重大生の学びや学生生活を充実させるための環境やルール、企画(イベント)についてのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 充電スペースを増やす ・ 朝に焼き立てのパン、おにぎり、みそしるなどの朝食の提供 ・ 食堂で三重大カレーを提供する ・ ワクチンを三重大大学病院で摂取できるように ・ 災害などで電車が止まった際、三重大内で過ごせる施設として、クラブハウス施設を開放 ・ 衛生 便座クリーナーを全部のトイレにつける 	<p>②三重大生の学びや学生生活を充実させるための環境やルール、企画(イベント)についてのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャンパスマップがたまか。→学生に必要な情報のアンケート ・ 生物資源学部の駐輪場にある自転車のごたごた。→駐輪スペースの確保、整列を促進。 ・ 投稿の時に病院側から入ろうとすると車が全然止まってくれなくて横断歩道が渡れない→標識が欲しい ・ 生協でご飯かうとき翠陵会館だと混んでいる、教養教育棟の空き教室は遠いから、クラブ・サークル棟の施設を昼食に開放してほしい ・ 教養教育棟のベンチとか生協のベンチにバラソルみたいな日除けがほしい。あるところにはあるが、全部ほしい。日傘をさして食べている人もいる。

③そのアイデアを実現させるために自分や三重大生ができること

- ・キャンパスマップに必要な情報について学生側から積極的に発信、あるいは学生がマップを作る
- ・学習スペースや空きコマの過ごし方などの学生目線の魅力ポイントを書いて、賑やかなマップを作る。

④そのアイデアが実現した場合に三重大生（や大学利用者）にもたらされるメリット

- ・迷子にならない。他学部に行きやすく、人の行き来が活性化する。
- ・学生目線の細かい情報を載せられて、キャンパスライフが充実する。
- ・他の施設も利用しやすくなる。

6. 資料

- 学生支援サミット 2024 ポスター
- 三重大学ホームページ トピックス掲載記事

三重大学 学生支援サミット2024

【日時】
2024年9月25日 [水]
12:00～13:30

【会場】
地域共創プラザ2階 [対面開催]



サミットのテーマ・内容

学生の力で推進する『キャンパスづくり』

対面を基本とした大学生活が復活した今、三重大学をよりよい環境にアップデートしていくことは、学生・教職員・大学を利用する地域の方々のいずれにとっても大事なテーマです。

本サミットでは、充実した大学生活を送るための環境づくりや制度設計について、学生と教職員が一緒になって検討する機会とします。

当日は、参加者の懇親のために立食形式の昼食を食べながらイベントが進行します。

昼食を食べつつ、「こんな環境があれば三重大学はもっとよくなる!」「〇〇があれば三重大生はこんなことができるようになる!」など、よりよいキャンパスづくりのためのアイデアを一緒に考えましょう。

お問い合わせ: 三重大学 学生支援・キャリアセンター (担当: 風間)

TEL 059-231-9903

MAIL junki.kazama@mie-u.ac.jp

主催: 三重大学 学生支援・キャリアセンター、学生支援企画部門



令和6年度学生支援サミットを行いました

9月25日（水）、地域共創プラザ2階にて、学生の力で推進する「キャンパスづくり」をテーマに令和6年度学生支援サミットを行いました。

このサミットでは、学生と教職員が「行動する力」を活かして、充実した大学生活を送るための環境や制度について、一緒に考え、議論する場となっています。



サミットでは、学生と教職員がグループを組み、大学に対して求めることを出し合いました。ここで出された提案は、学生支援・キャリアセンターの支援体制の充実に活かすための資料として活用していきます。



編集：三重大学 教育推進・学生支援機構

学生支援・キャリアセンター、学生支援企画部門

